

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成23年7月14日(2011.7.14)

【公開番号】特開2010-159507(P2010-159507A)

【公開日】平成22年7月22日(2010.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2010-029

【出願番号】特願2009-1254(P2009-1254)

【国際特許分類】

D 2 1 H 17/17 (2006.01)

D 2 1 H 19/10 (2006.01)

【F I】

D 2 1 H 17/17

D 2 1 H 19/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月1日(2011.6.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

耐水張力が、3.5秒以上である

ことを特徴とするオフセット印刷用新聞用紙。

【請求項2】

原紙の両面に表面処理剤が塗工されており、
前記表面処理剤が、

接着剤と、アルキルケテンダイマー系表面サイズ剤と、高分子系表面サイズ剤とを含んでいる

ことを特徴とする請求項1記載のオフセット印刷用新聞用紙。

【請求項3】

前記アルキルケテンダイマー系表面サイズ剤の塗工量が、片面当り $0.001\sim0.02\text{ g / m}^2$ であり、

前記アルキルケテンダイマー系表面サイズ剤と前記高分子系表面サイズ剤の塗工量の比率が、1対4~4対1である

ことを特徴とする請求項2記載のオフセット印刷用新聞用紙。

【請求項4】

前記表面処理剤の接着剤が、
ポリアクリルアミド系接着剤と澱粉系接着剤とを含んでいる

ことを特徴とする請求項2または3記載のオフセット印刷用新聞用紙。

【請求項5】

JAPAN TAPPINO.32-2に準拠した試験方法において、滴下水量 $5\mu\text{l}$ を吸水する時間が30秒以上である

ことを特徴とする請求項1、2、3または4記載のオフセット印刷用新聞用紙。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0019】**

第1発明のオフセット印刷用新聞用紙は、耐水張力が、3.5秒以上であることを特徴とする。

なお、本明細書において、「耐水張力」とは、オフセット印刷用新聞用紙からなるCD方向の長さが15mm、MD方向の長さが250mmの紙片を、定速伸張形引張試験機に対して紙片のMD方向の両端が保持されかつ紙片を保持する部材間の距離が180mmとなるように取り付け、定速伸張形引張試験機によって紙片をそのMD方向に沿って伸長させ、紙片に付与される引張荷重が6.0Nとなった時点で紙片の伸張を止めて紙片の中央部に15μlの水を付着させたときに、水の付着後、紙片から定速伸張形引張試験機に対して加わる引張荷重が6.0Nから4.0Nに低下するまでに要する時間をいう。

第2発明のオフセット印刷用新聞用紙は、第1発明において、原紙の両面に表面処理剤が塗工されており、前記表面処理剤が、接着剤と、アルキルケンダイマー系表面サイズ剤と、高分子系表面サイズ剤とを含んでいることを特徴とする。

第3発明のオフセット印刷用新聞用紙は、第2発明において、前記アルキルケンダイマー系表面サイズ剤の塗工量が、片面当り0.001～0.02g/m²であり、前記アルキルケンダイマー系表面サイズ剤と前記高分子系表面サイズ剤の塗工量の比率が、1対4～4対1であることを特徴とする。

第4発明のオフセット印刷用新聞用紙は、第2または3発明において、前記表面処理剤の接着剤が、ポリアクリルアミド系接着剤と澱粉系接着剤とを含んでいることを特徴とする。

第5発明のオフセット印刷用新聞用紙は、第1、第2、第3または第4発明において、JAPAN TAPPINo.32-2に準拠した試験方法において、滴下水量5μlを吸水する時間が30秒以上であることを特徴とする。